

# 生活活動工程の分析

---

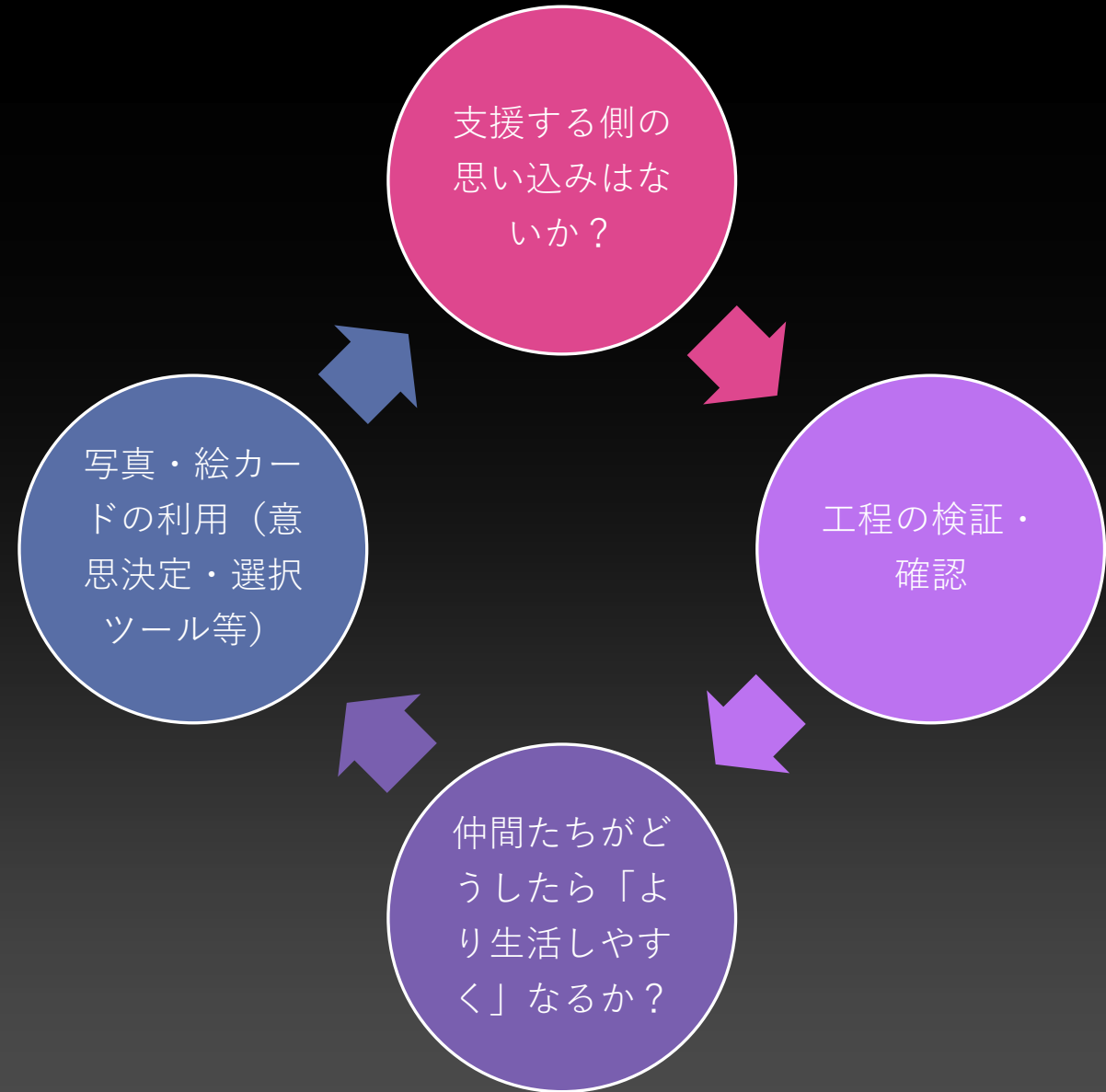
ごうでいんぐ原田通所生活介護

# 30年度生活介護年度目標

---

- 生活活動工程の分析と明確化
- 支援ツール、工程表の充実

# 目標設定の理由



# 工程を明らかにして使って予想される効果

---

## 支援員に期待される効果

- 仲間の活動の場面と場面を繋ぐ際の「壁」
  - 課題を明確化
- 考察→実践→振り返り→修正→実践  
→ . . .
- 支援の取り組みの「引き出し」を増やす

## 仲間たちに期待される効果

- 「課題」の解決→「見通し」が付きやすく  
なる。
- 生活・活動がしやすくなる。
- 生活・活動に「幅」が広がる可能性

# 仲間達の集団 全体用の工程

## 1週間の予定


仲間達が見て生活  
上少しでも見通し  
が付き易くなるよ  
うにしています。


日	朝の会	ごぜんの活動	支援員	おひるのきゆうけい	ごごの活動	支援員	帰りの会
11月 11日	朝の会	今週のよてい 散歩(さんぽ)			よみきかせ		
12日	朝の会	公園へ行く			ハンドマッサージ		
13日	朝の会	畑(はたけ)			音楽(おんがく)		
14日	朝の会	こゝろさく			エコキャンプ		
15日	朝の会	散歩(さんぽ)			散歩(さんぽ)		
16日	朝の会	そうじ			アート		
17日	朝の会	ふりかえり					
18日	朝の会	畑(はたけ)					


【備考】 11111 22222  
月 月 433333 44  
00000 55 66666 777 888


# 工程表①


## 昼食準備と片付けの工程


①  おべんとうのじゅんぴとかたづけ  
てーぶるをふくじゅんぴをします。


②  てーぶるをふきます。

③  おはしをくぼります。

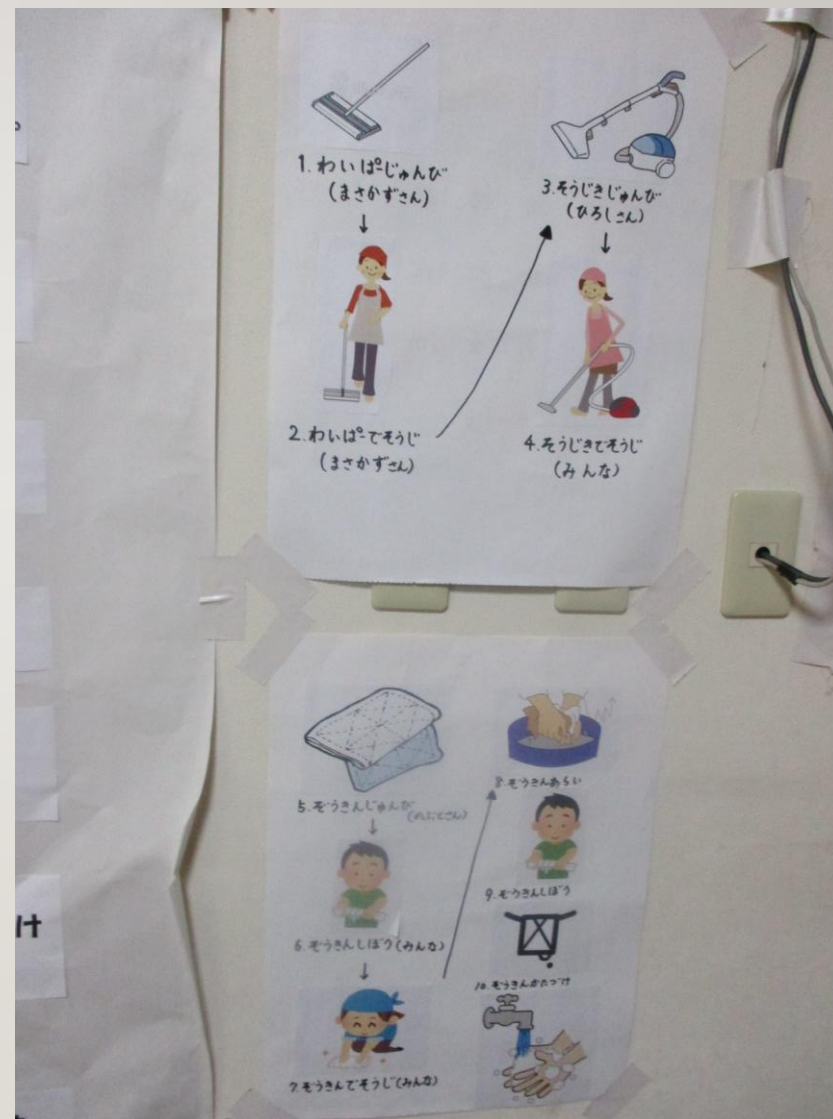
④  おちゃのじゅんぴをします。

⑤  おべんとうをくぼって  
「いただきます。」

⑥  たべおわったら、はこにかたづけ  
ます。

⑦  おべんとうほこをかたつけます。

# 工程表② 掃除の準備、進め方、片付けの工程



# 係り分担表

## ～1日の生活 での仲間個々の仕事分担





# 個別工程表の事例

～ Aさんの場合 ～

# Aさんがどうしたら一人で無理なく靴が履けるか？

---

- 靴を履き易い方法は（立って履くから、座って履くへ）
- 靴を履き易い場所は（靴の置き場所、座りやすい場所）
- 立ち座りの際の工夫（高さの調整で負担を軽く）
- 履き方（個別支援しながら覚えていく）

## Aさんの座る位置

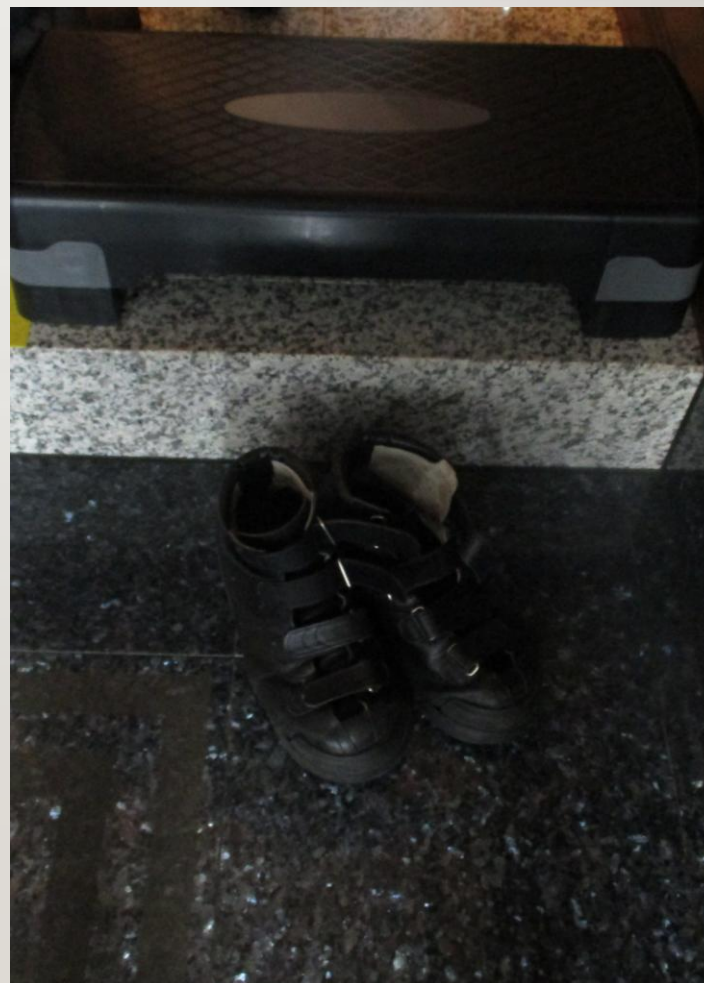
---

- 立ち座りが容易な手すりと、靴の履きやすい段差がある場所の提示をしています。



## より立ち座りが容易となる工夫

- 
- 滑りにくくなっている踏み台昇降用のステップを利用してさらに高さを増やして、足にかかる負担を軽くするようにしています。



## 座り方の提示①

- 手すりを持って体を支持するようにしています。



## 座り方の提示②

---

- ①と同様に手すりを持って体を支持するようにしています。



## 靴の履き方

---

- 実際に繰り返して手添え支援を行った後、自分で靴のベルトを閉めるようになった状態です。

終わった後、支援員が確認します。



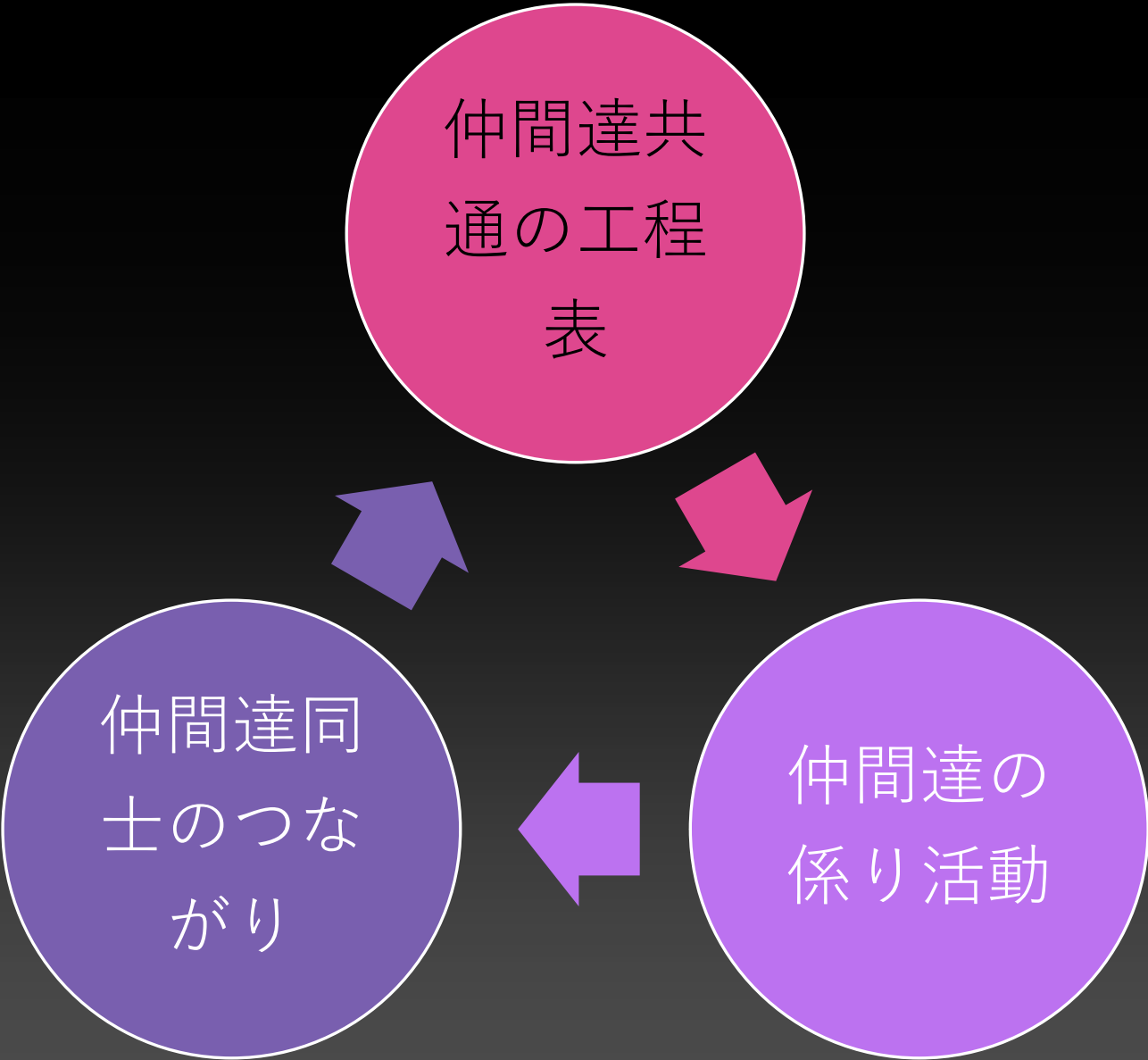
履き終えた状態

---





今年度の成果



# 今後の課題

---

- 仲間個々の工程表の不足
- 「よかろう」という考えの支援は行わない
- 支援員の仲間の課題に対する「どうしたら?」という「目」と「考え」
- 「押し付け」でない仲間と一緒に考えて作る工程表

# 3 1 年度目標


---

- 今年度の目標を継続

- ①生活・活動工程の分析と明確化

- ②支援ツール・工程表の充実

【そのために】

- 活動ごとの全体を通じた工程表を作る（支援員主体で仲間と一緒に）
  - 個々の仲間の活動を観察し、工程表と照らし合わせ「壁」を明らかにする。
  - 仲間個々の工程表を作成へ反映する。
- 



ご清聴ありがとうございました

